

【工業・電子情報科】

平成25年度 指導と評価の年間計画(シラバス)

盛岡工業高校 全日制課程

教科	マルチメディア応用	単位数	2	学科・学年	電子情報科・3年				
使用教科書	マルチメディア応用・実教出版	副教材							
到達目標(具体的な取り組み【評価基準を念頭に置いた指導上の留意点】)						評価の重点			
学期	月	学習項目 (単元名、教材、学習領域)	主な学習活動・評価のポイント	評価方法	関心	話す	書く	読む	知識
前期中間	4	ガイダンス 第1章 マルチメディア技術と情報処理システム マルチメディア技術の概要 情報処理システムの概要	マルチメディアとはどのようなものか理解させる マルチメディアを利用したシステムにはどのようなものがあるか理解させる	観察記録 自己評価 定期考査	・	○	○	○	○
	5	第2章 デジタル化技術 デジタル化技術 情報の圧縮と復元 入力装置と伝送技術	A-D変換D-A変換について 標本化、量子化、符号化について理解させる		・	○	○	○	○
	6	定期考査			・	○	○	○	○
前期末	6	第3章 システム開発の手順と設計 システムの概要 分析と設計	システムとは何か理解させシステムの概要、開発の手順など演習を行いながら理解させる システム開発の例を用いてシステム開発を理解を深める	観察記録 自己評価 定期考査	・	○	○	○	○
	7	概要設計と詳細設計	シミュレーションについて説明し、理解させる パソコンを利用してマルチメディアの現状について学習する		・	○	○	○	○
	8				・	○	○	○	○
	9	演習 定期考査			・	○	○	○	○
後期中間	9	第4章 情報処理システムとマルチメディア技術の利用 情報通信ネットワークシステム 情報処理システム	情報通信ネットワークの用途、特徴を理解させる インターネットのネットワーク構造や代表的なサービスについて理解させる ネットワーク機器について理解させる	観察記録 自己評価 定期考査	・	○	○	○	○
	10	マルチメディア処理システム	情報通信ネットワークにおける安全対策や倫理の重要性について理解させる		・	○	○	○	○
	11	定期考査			・	○	○	○	○
学年末	11	教育システム データベースシステム 仮想体験システム	遠隔授業システムなど各システムの目的、構成機能などについて理解させる	観察記録 自己評価 定期考査	・	○	○	○	○
	12	プレゼンテーションシステム	各システムと従来の方法との違いについて理解させる		・	○	○	○	○
	1				・	○	○	○	○
	2	演習 定期考査	効果的なプレゼンテーションを行うようにはマルチメディア技術をどのように活用すればよいかを理解させる		・	○	○	○	○
	3				・	○	○	○	○